



NPO PTPL “ともいき” 便り No.119

平成 29 年 (2017 年) 3 月 20 日発行

■春分 (しゅんぶん) 3 月 20 日から 4 月 3 日までの節気

家の近くの遊歩道のユキヤナギがやっと咲き始めました。昨年と比べるとずいぶん遅いような気がします。一方、モクレンは満開です。白いハンカチを空にむかって振っているようです。二十四節気では 3 月 20 日から 4 月 3 日まで、「春分」の節気に入ります。春分は、「春のなかば。寒さもすっかりやわらぐころ」。でもなんだか寒いですね。20 日の春分の日は、昼と夜の長さが等しくなり、春のお彼岸の中日です。我が家もお墓参りにいく予定です。

母方のお墓は公園墓地の中にあり、木々が多く植えられています。今の時季、なんとなく木々が薄い緑や赤や黄色にもわもわと色づいているように見えます。木の芽がふくらんでいるせいでしょうか。ちなみにこの頃に降る雨のことを「木の芽起こし」というのだそうです。

気象キャスターの先駆けの倉嶋厚さんが書かれた「季節よもやま事典」(東京堂出版)の「春分」の章に、小学校三年のときに習った文部省唱歌「木の芽」の歌詞が紹介されています。倉嶋さんは大正 13 年生まれですから、小学 3 年というと昭和 9 年ぐらいでしょうか。歌詞は 2 番まであります。紹介します。「歌った!」という方、いらっしゃいますか。

『木の芽』

- 1 ゆうべの雨で うまれたか
今朝の光で そだったか、
赤や緑やさまざまの 色美しい木の新芽
- 2 ひにひにのびるよ 木の新芽
春の力を 身に受けて、
赤も緑もいつしかに みな美しい葉となるよ

身近な自然の移ろいを、やさしいことばで表現している歌だと思います。こ

のような素朴な歌が、忘れられていくのはなんだかさみしいです。

さて「春分」の行事を二つ。4月1日はエイプリルフールです。悪意のない嘘を堂々とつける日。そして、3月23日から31日は、奈良、薬師寺の花会式。本尊である薬師三尊像を梅・桃・椿・かきつばた・菊・百合など、10種類の造花で飾り、国家安泰、五穀豊穰を祈ります。花会式とは、花に会うと書きます。花がつぎつぎと咲く「春分」の季節にぴったりの行事ですね。

そしていよいよ、桜シーズン到来ですね。遊歩道の桜のつぼみはまだかたいですが、和菓子屋さんのウィンドウのなかでは大きな桜の花が満開です。先週、幼稚園を卒園した孫娘のお祝いにケーキのかわりに、桜の生菓子を7つ、黒漆のお盆にのせて出しました。なんてきれい！ あんこの苦手な孫娘も花びらを2枚、食べてくれました。

花咲く季節。くれぐれも花冷えに気をつけて、お元気にお過ごしください。

すとう あさえ(NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和 雑感彼是

私たちは、人と自然が共に生きる「ともいき」、共に生み出す「ともうみ」、共に幸せに生きる「ともさち」を大切にしてきました。

それらは個々別々のものではなく、密接に関連しつつ、融和し、複合しながら、私たち日本人のこころの内に存在しています。

そこに貫かれているのは、大いなる自然のもとにあって、人も生きとし生けるものも共に和む「和の精神」です。(この4つが)日本人の基本的、精神的基盤、「目に見えないジャパネスク」です。

この「目に見えないジャパネスク」が日本独特の形あるモノ・コト・ワザ文化を創りだしてきたのです。これが「目に見えるジャパネスク」です。

「目に見えないジャパネスク」と「目に見えるジャパネスク」の総称を私たちNPO PTPLが提唱する「ジャパネスク」です。

ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。ジャパネスク。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■お詫びと訂正

いつも「ともいき便り」をご覧いただき、心より感謝申し上げます。

さて、2017年3月5日発行の「ともいき便り No.118 啓蟄号」にて、多くの方々から文章の誤りと誤字があると、ご指摘があり、改めて調べ直してみるとご指摘通りでしたので、ここに下記の通り訂正いたします。

訂正①

夜桃林（よるとうりん）を出（い）でて あかつき山ざくら
夜桃林（よるとうりん）を出（い）でて あかつき嗟峨の桜人
下線部のように「山ざくら」ではなく、「嗟峨の桜人」が正しい句です。

訂正②

やまごころを 人 問わば 朝日に匂う やまざくらかな
しきしまの やまごころを 人 問わば 朝日に匂う やまざくら花
「しきしまの」が抜けていることと、下線部の「かな」ではなく、「花」が正しい歌です。

訂正③

だれのうたでしょうか、もしや 本居宣長ではないでしょうか。
これは皆さまご存知のように本居宣長が61歳の時に作った歌です。

訂正④

晩年の 父母 あかつきの 山ざくら。
この句は蕪村の句ではなく「飯田龍太」が昭和33年に作った句です。

訂正⑤

啓蟄の「啓」は開く、毛一縷の「蟄」
下線部のように「毛一縷」ではなく、「啓蟄」です。

以上のように多くの部分の誤りがありました。

改めてお詫び申し上げます。

今後、このようなミスがないように筆者並びに事務局では構成と推敲を徹底的に行ってまいります。さらに、当面は「ともいき暦」では俳句に関する文章はお休みさせていただきます。

今後とも、当NPO活動へのご理解ご協力を切に願っております。何卒、よろしく願いいたします。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- 是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- NPO PTPL は「ジャパネスク運動」推進中です。

ぜひ、「ジャパネスク」サイトのメニューのひとつの「ジャパネスク語り」
(<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>) をお読みください。

- 会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 3-3-3 虎の門南ビルスタンダード会議室虎ノ門南店 4 階—A

電話：03-6459-0264 FAX；03-6459-0284

Email：info@ptpl.or.jp